

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	国際技術協力論		
英文授業科目名	International Technical Cooperation		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	小菅 敏夫		
居室	西2-717		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kosuge@hc.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>21世紀においてもわが国が取り組む重要な課題の一つが国際協力であり、特に途上国との関係においては、その必要性と期待度は今後も大きいものである。特に情報通信技術（ICT）を含む技術の進展による世界の発展は我々の生活や社会及び国際関係に大きな影響を及ぼしてきている。この観点から、情報通信分野を専攻している学生が、国際社会で課題であるデジタルデバイド解消への、情報通信における技術協力、技術移転を含む開発援助について、国際的・国内的製作、具体的な協力実施方法並びに協力プロジェクトの現状及び課題について学習し理解を深める。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特に無し。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
情報通信技術に関する基礎科目。科学技術と法。国際コミュニケーション論等。

<b>【教科書等】</b>
ワールドICTビジュアルデータブック、(財)日本ITU協会

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

「国際技術協力論...情報通信技術と開発」

1. 日本の国際協力、政府開発援助（ODA）の現状と課題
2. 国際電気通信連合における技術協力の現状と課題
3. 日本の情報通信分野における国際協力の現状と課題
4. 技術協力における国際協力機構（JICA）の役割
5. 開発途上国における情報通信の役割と開発
6. 開発と非政府団体（NGO, NPO）の役割、現状と課題
7. 国際協力銀行（JBIC）の役割、現状と課題
8. 国連システムにおける技術協力の現状と課題

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

毎時間のレポート及び出席を参考に評価を行う。

### 【オフィスアワー：授業相談】

人間コミュニケーション事務室に発表されているオフィスアワーに従って研究室で行う。

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】